

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文庫	症例	適正 使用 措置	感染症(PT)	出典	概要
												BSE	ProMED-mail20070208.0499	2007年2月7日、Canadian Food Inspection Agency (CFIA) はAlbertaの成牛はBSEであると確定した。死体は管理され、どの部位もヒト食料または動物の飼システムに入っていない。予備的情報ではこのウシは生後1年目に少量の感染物質に暴露したと考えられる。国際的ガイドラインに従った疫学的調査が開始された。
												BSE	ProMED-mail20070308.0813	2007年3月8日、CFIA (Canadian Food Inspection Agency) はカナダにおける最近のBSE牛の総合的な調査はまもなく完了すると発表した。そのウシは2000年に生まれ、死亡時は少なくとも6.5歳であった。
												結核	ProMED-mail20061101.3131	2006年11月1日、米、ミネソタ州動物保健局は、同州で7番目の群れでウシ結核が発見されたと発表した。Beltrami郡のウシ1頭がウシ結核であることが確認された。感染したウシの群れから1マイル以内でハンターによって殺されたシカの内、2頭が検査でウシ結核陽性であった。
												結核	ProMED-mail20070206.0470	1974年以来初めて、コロラド州でウシ結核症例1頭が報告された。そのウシはTexasの食肉加工施設に売られていた。結核は死体の日常的検査中に肺で発見された。そのウシの肉は出回ってはいない。ウシ約660頭の検査が行われた。
												結核	ProMED-mail20070306.0787	米、ニューメキシコ州Eddy郡でウシ結核の確定症例が報告された。感染した乳牛は屠殺場で行われる日常的検査で発見された。また、同州北東部のウシの群れが結核に暴露した可能性のため監視下に置かれている。
												狂犬病	ProMED-mail20070323.1011	カナダで、公衆衛生当局はWoolwich Townshipにおいて動物4例(ウシ2頭、ウマ1頭、スカンク1匹)が検査で狂犬病陽性であったことを確認した。これらの動物は全て処分された。8人が感染した家畜に接触したおそれがあり、狂犬病ワクチンで治療されている。このアウトブレイクの原因は狂犬病のスカンクである。
84	2007/04/23	70084	ゼローノ・ジャパン	ソマトロピン(遺伝子組換え)	C127細胞株(マウス細胞)	マウス細胞	不明		製造工程	無	無			
85	2007/04/23	70085	ゼローノ・ジャパン	ソマトロピン(遺伝子組換え)	トリプシン	ブタ臓臓	英国、米国、カナダ、デンマーク		製造工程	無	無			